

# 明日の家族を考える会 会報



第9号

2010年2月

・発行 明日の家族を考える会・会長 羽賀紘一 ・事務局長 中村厚子  
・発行責任者・編集人 羽賀紘一 ・毎月1回発行  
・事務局 〒659-0091 芦屋市東山町10-2-701 中村方 TEL. 080-6165-7011  
FAX. 0797-23-2488 URL <http://wnw-ashiya.com>

## 2月度幹事会

○日時 2010. 2. 25 (木)

19:00~21:20

○場所 中村邸

○出席者確認 (敬称略) 安生、大脇、河村、中村、羽賀、榎本、山本、安井、以上8名

○配布資料 会報第8号 (2010年1月)

○報告事項

\*事務局報告・中村事務局長

1) 協議会2月定例会報告、ウィザスあしやフェスタ2010関連

・市内広報板にポスターを貼付&撤去作業の分担(8カ所)の実施(中村さん、榎本さん、三木さんが参加予定)

・3月1日の講演会と3月11日午前&午後の公開学習会への申し込み状況の報告と幹事の出欠確認。

・バザー用寄贈品の報告





2) 会報とウィザスあしやフェスタ2010のチラシを会員に郵送した。

3) 杉本会員から1万円拝受。

\*会計報告・・河村担当

- ・3月9・23日に開催するバンビグループ主催の親子体操プログラム参加者に保険をかける。
- ・当行事終了後に、兵庫県「地域子育て力アップ支援事業」の助成金を申請する。
- ・社会福祉協議会の助成金28,000円を申請する。

\*HP報告・・大脇担当

- ・イベント情報や具体的な日程を追加する。

\*カルガモクラブ、バンビグループ、まちの寺子屋の報告・・河村担当

- ・2月4日(木)に開催した食育をテーマにしたカルガモクラブの特別イベントの報告:

講演「野菜とお米の話」と有機野菜を使った季節の料理(にんじんご飯)の試食会は、好評であった。

・今後の予定

○カルガモクラブ 3月11・25日(木) 於西蔵集会所

○バンビグループ 3月 9・23日(火) 於打出集会所

○まちの寺子屋 2月26日(金) 15:30~17:00 於前田集会所

- ・年度末が近くなり、転勤などで新規参加者が5~6組あった。
- ・カルガモからバンビへと継続して参加し、この3月に卒業して幼稚園に進級する子どもが4名いる。

○審議事項

羽賀会長から2010年を当会の5周年と位置づけ、何か区切りの記念行事を考えてはどうかという提案があり、審議の結果、以下の概要を骨子としてまとめ、詳細は、今後継続して審議し、決定することを了承した。

①時期 2010年9月12日(日)開催をを第1候補日とする。

②内容 子育て支援事業のプログラムを記念事業にする。内容は、2月4日に開催されたカルガモクラブの特別イベントの内容(講演「野菜とお米の話」と有機野菜を使った季節の料理の試食会)に音楽をプラスしたもの。講師 保田 茂氏。音楽演奏者も今後交渉する。

③会場 親子で参加しやすく、調理・音楽の出来るスペースを検討する。

○次回幹事会

2010年3月25日(木) 19:00~ 中村邸 卓話予定 守上さん





# ○グループ紹介用紙の取り付け作業

2月26日(金)14:00より、芦屋市男女共同センターウィザスあしや E 会議室において、ジェンダーフリーを考える会と一緒にグループ紹介用紙の壁面への取り付け作業を行った。

参加会員は、中村さん、羽賀さん、榎本さん



榎本さん

中村さん

# ○2月の子育て支援活動

## \*カルガモクラブ

・・・河村さん担当

第2・第4木曜日10:00~11:30 西蔵集会所

0歳~よちよち歩きまでの親子が対象

2月25日(木) 21組の

親子が参加されました。今回は、新しく参加された方も5組おられてにぎやかでした。

参加ボランティアは、辻原さん、徳田さん



当会の紹介



共催 カルガモクラブ  
食品公害を追放し安全な食べ物を求める会



# 健やかなからだを育てるための 野菜とお米のお話

講師 保田 茂さん  
(兵庫農漁村社会研究所代表)

2月4日(木) 10時~12時、西蔵集会所に保田 茂さん(兵庫農漁村社会研究所代表)をお招きし、「野菜とお米のお話」をお聴きしました。

お話の内容は、①健やかなからだを育む食べ物について ②冬野菜を使ったメニューの紹介 最後はみんなで、兵庫県丹波市市島町で作られている、太陽と大地の恵みがたっぷりの有機野菜を使った料理を試食しました。

参加者は、カルガモクラブの18組の親子

参加ボランティアは、曾我部さん、辻原さん、徳田さん・正会員の参加は、河村さん、羽賀さん



講師 保田さんを囲んでお話を聴く





保田 茂さん



参加者みんなで野菜料理を試食



西藏集会所の台所で野菜料理が作られ、参加者に振る舞われた



河村さん

辻原さん  
徳田さん

曾我部さん







野菜料理を試食する親子

## 冬野菜をおいしくたっぷり簡単メニュー

### ○にんじんごはん○

【材料】

白米 2合 にんじん 1本 バター



【作り方】

- ① 白米はといでおく。にんじんはすりおろす
- ② 炊飯器に白米をいれ水は分量よりややすくなめに
- ③ ②にすりおろしたにんじん(2合に1本くらい)をいれスイッチオン、炊きあがりにバター適量くわえざっと混ぜる

### ○大根のミネストローネ風○



【材料】

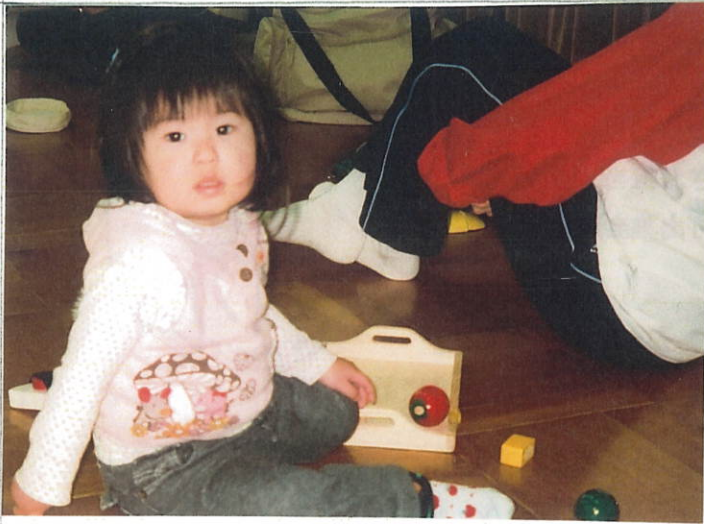
野菜は玉ねぎと大根は必須、そのほかはかぶ、サトイモ、にんじん、セロリ、白菜、きゃべつなどなんでも、きのこもおすすめ。

・オリーブオイル ・にんにく 1片 ・トマトジュース(またはトマト缶)

【作り方】

- ① 材料はにんにく以外すべて角切り
- ② フライパンににんにくとオリーブオイルをいれて火にかけ、にんにくの香りがたったらたまねぎをいためる
- ③ たまねぎがすきとおたら、ほかの野菜をいれていためる。サトイモは下ゆでしておくともめりが出なくて良い
- ④ 全体が透き通った感じになったらトマトジュース(またはトマト缶と水)と、あればローリエをくわえて、約20分ことごと煮る。塩コショウで味をととのえ出来上がり。





### ○大根のビール漬け○

#### 【材料】

大根 1kg  
 調味液：中ザラメ 150g ビール 75cc 練りからし 10g  
 酢 40cc 塩 40g

#### 【作り方】

- ① 大根を適当な大きさに切る
- ② 調味料をあわせておく
- ③ 容器に大根をいれ②の調味液をそそぐ  
(4~5日くらいからおいしくたべられる。)

### ○野菜のピクルス○



#### 【材料】

かぶ そのほか根菜など  
 調味液：米酢 200cc 砂糖 大さじ3 塩 小さじ1 ローリエ 1枚  
 赤とうがらし 1本 粒黒こしょう 10粒 水 150cc

#### 【作り方】

- ① 野菜は適当な大きさにきって容器にいれておく
- ② 調味料をあわせて火にかけ、沸騰したら火をとめ①にそそぐ  
(4~5日くらいからおいしくたべられる)

### 「青菜をつかった和え物」

### ○青菜のピクルス和え○

【材料】 青菜 ピクルス 各適量

#### 【作り方】

- ① 青菜はゆでて適当な大きさに切っておく
- ② ピクルスはうすぎり
- ③ ①を②、ピクルス液少々で和える



# \*バンビグループ...河村さん担当

第2・4火曜日10:00~11:30 打出集会所

1歳~3歳の親子が対象



2月 9日(火) **9組の親子** が参加されました。

参加ボランティアは、曾我部さん

23日(火) **14組の親子** が参加されました。

参加ボランティアは、曾我部さん、辻原さん、徳田さん



辻原さん

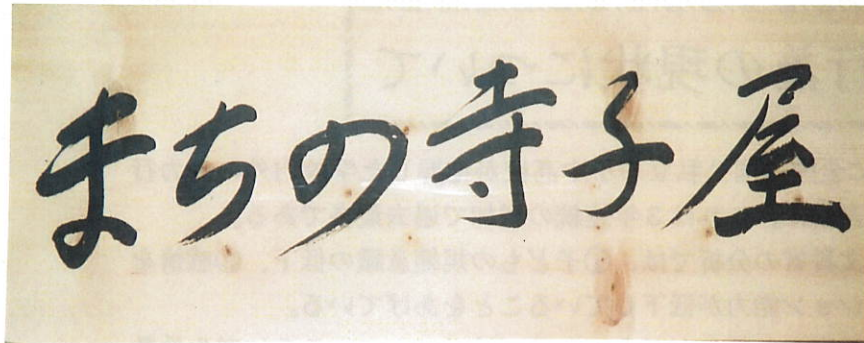


みんなで後片付け

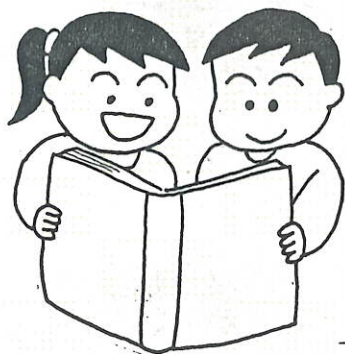




# 県民交流広場事業



2月26日(金) 15:30~17:00 前田集会所いこいの部屋で開催した。  
 当日は、8人(男の子2名、女の子6名)が集まり、自分で本を選び、数人で順番に声を出して読んだり、また、1人で黙々と読む子もいたり、有意義なひとときを過ごしました。  
 参加会員は、安生さん、曾我部さん、羽賀さん、他にボランティアとして星野さん、三輪さんが来てくれました。



→ 前田集会所





=知っておきたい知識=



## 子どもの暴力行為の現状について

文部科学省が、2008年度に全国の国公私立の小中高校が把握した学校内外の暴力行為は59,618件あったと発表した。これは3年連続の増加で過去最多である。

暴力行為が多い理由について、文科省の分析では、①子どもの規範意識の低下、②感情を制御出来ない。③コミュニケーション能力が低下していることをあげている。

問題行動を早期に発見して即対策をとることが大切と言い続けてきているのに発生件数は増えていくのはどういうことか。問題の本質的な要因を明らかにしてそこに対策を打つことこそ重要と思われる。

### \*小中高の暴力行為の発生件数

- ・小学校・・・6,484件(07年度比1,270件増)
- ・中学校・・・42,754件(同 5,951件増)・全体の72%を占める
- ・高校・・・10,380件(同 359件減)

### \*暴力行為の内容

- ・生徒間の暴力・・・32,245件
- ・器物破損・・・17,329件
- ・見知らぬ人への暴力・・・1,724件
- ・教師への暴力・・・8,120件

### \*いじめ件数

- ・小学校・・・40,807件
- ・中学校・・・36,795件
- ・高校・・・6,737件
- ・特別支援学校・・・309件

いじめを把握した学校の割合は、小学校で33%、中学校57%、高校40%、特別支援学校12%、全体では40%で依然、多くの学校でいじめがあった。



#### 編集後記

「最近どうも自分は素直さがなくなったなあ」と思うようなことはありませんか。もし心当たりがあれば、確実に老化現象に入っているといえる。それはすでに自分の心の中に関所を持っているからである。

この心の関所を解き放ってこそ新鮮な発想が生まれてくるものである。人間「素直さ」を失ってしまうと、

固定観念にしばられてしまい、新しいことが何も見えてこないことになる。それは年齢の問題ではなく、心の持ち方であろう。子どもたちが持っている「素直さ」とは何であろうか、考えてみると、①好奇心旺盛で何でも興味を持っている。②何事にも疑問を持っている。③「なぜ、どうして・・・」とわからないことは徹底的に追求していく。④何でも現場で触れてみて、現場を確認する三現主義である。などが考えられる。

いくつになってもいつも「素直な心」を持って物事に対処したいものである。(羽賀)